

西オーストラリア州・兵庫文化交流センター

手延べそうめん「揖保乃糸」キャンペーンが大好評 播州織、兵庫の日本酒に続き、豪州市場での販路開拓支援

パース日本祭りでのそうめんキャンペーン

3月7日、真夏の日差しが眩しい西オーストラリア州のパース駅前広場で、第2回パース日本祭りが開催されました。約1万5千人が日本の食や文化を楽しみましたが、最も人気のあったものの一つが兵庫文化交流センターの「揖保乃糸」そうめん試食キャンペーンです。

オーストラリアでは「スシ(主に巻き寿司)」、「ウドン」は誰でも知っている人気メニューですが、まだ冷たい麺を食べる習慣がありません。兵庫県手延素麺協同組合提供「揖保乃糸」に、ヒガシマル醤油株式会社提供の「めんつゆ」をかけ、ネギ・のり・花かつお・乾燥小エビなどをトッピングして、おろしショウガ・おろしワサビを付けた“ぶっかけそうめん”方式の「Somen Noodle」には、文字どおり長蛇の列ができ、用意した約500食は2時間足らずで無くなりました。廉価で販売した袋入り素麺も同じく完売し、予想をはるかに上回る大好評となりました。実は約2年前にもパースのフードフェスティバルで同様のキャンペーンを行い同じく大好評。その後、現地の日本食品スーパーで「揖保乃糸」の販売が始まりました。今回はそうめん初体験という人が大半でしたが、「スーパー・スレンダー・ウドン(超細うどん)」「ゆで方はスパゲッティと同じでたった1分余り」と説明すると、皆さんなるほどと納得します。実はそうめんの原料の小麦の大半は、西オーストラリア産という深い関係もあります。



大盛況のパース日本祭り



大人気だった「揖保乃糸」そうめん試食キャンペーン

今回のキャンペーンの成功で、スシ、ウドンだけでなく「ソーメン」もオーストラリア人に受けるということを確認しました。今後は日本食レストランのメニューにもっと取り入れてもらうように働き掛け、販路拡大につなげていきたいと考えています。

播州織、日本酒などの進出も支援 オーストラリアの優良な消費市場に参入

5年前から州政府と連携して播州織を使ったファッション交流プロジェクトを行っており、有名なワイナリーと播州織のコラボによる商品制作も実現しました。日本酒((株)本田商店「龍力」大吟醸 米のささやき、(株)神戸酒心館「福寿」純米吟醸、小西酒造(株)「白雪」純米酒「赤富士」)も、昨年第1回パース日本祭りや西豪州ホテル・レストラン協会の展示会出展などを通じてPRし、「福寿」「白雪」についてはパースでの小売り実現を支援しました。

オーストラリアは過去20年以上不況を経験したことがなく、人口増加と経済成長・インフレが続き、賃金も上昇を続けています。労働者は高賃金で高額所得層も多く、購買力・購買意欲は旺盛。人口は約2,300万人と大きくはありませんが、消費市場としては優良で持続的なマーケット。最近日本企業の進出・投資も増えており、国民も親日的でさらに進展が期待できます。当センターでは引き続き、意欲ある兵庫企業の進出支援を続けていきます。

西オーストラリア州・兵庫文化交流センター

20 Kalinda Drive, City Beach, Western Australia 6015

TEL +61-8-9385-9002 FAX +61-8-9385-9005 URL <http://www.hyogo.com.au/> Email hyogo@iinet.net.au